

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信
信託期間	2016年1月7日から2026年1月16日まで
運用方針	安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	投資信託証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への直接投資は行いません。 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。 収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 収益分配に充てなかった留保益の運用については特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。

運用報告書(全体版)

楽天USリート・トリプルエンジン・プラス (リアル)毎月分配型

第90期(決算日：2023年7月18日) 第93期(決算日：2023年10月17日)
第91期(決算日：2023年8月17日) 第94期(決算日：2023年11月17日)
第92期(決算日：2023年9月19日) 第95期(決算日：2023年12月18日)

受益者の皆様へ

平素は当ファンドにご投資いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、このたび上記決算を行いましたので、当期間の運用状況につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

楽天投信投資顧問株式会社

<https://www.rakuten-toushin.co.jp/>

東京都港区南青山二丁目6番21号

本資料(運用報告書(全体版))の記載内容のお問い合わせ先

TEL：03-6432-7746

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

※お客様のお取引内容等につきましては販売会社にお問い合わせください。

■本資料の表記に関する注記

- ・金額等の数値は表記未満切捨または四捨五入により表示しております。このため、各項目の合計の値が合計欄と一致しないことがあります。
- ・－印は、組入・売買が無いことを示します。

最近5作成期の運用実績

決 算 期		基 準 価 額			公 社 債 入 率 組 比	投 資 信 託 券 率 組 入 比	純 資 産 額
		(分配落)	税 込 金 配 分	期 騰 落 中 率			
		円	円	%	%	%	百万円
第12作成期	66期(2021年 7月19日)	2,388	40	2.1	0.1	96.1	1,790
	67期(2021年 8月17日)	2,292	40	△2.3	—	95.8	1,736
	68期(2021年 9月17日)	2,302	40	2.2	0.1	97.3	1,719
	69期(2021年10月18日)	2,286	40	1.0	0.0	95.8	1,713
	70期(2021年11月17日)	2,295	40	2.1	0.1	98.1	1,690
	71期(2021年12月17日)	2,224	40	△1.4	0.1	97.2	1,631
第13作成期	72期(2022年 1月17日)	2,263	40	3.6	0.1	96.3	1,731
	73期(2022年 2月17日)	2,382	40	7.0	0.0	97.5	1,774
	74期(2022年 3月17日)	2,498	40	6.5	0.0	97.4	2,166
	75期(2022年 4月18日)	2,925	40	18.7	0.1	97.0	2,644
	76期(2022年 5月17日)	2,475	40	△14.0	0.0	97.7	2,033
	77期(2022年 6月17日)	2,503	40	2.7	0.0	98.1	2,321
第14作成期	78期(2022年 7月19日)	2,582	40	4.8	0.0	97.3	2,585
	79期(2022年 8月17日)	2,708	40	6.4	0.0	98.3	2,873
	80期(2022年 9月20日)	2,630	40	△1.4	0.0	97.1	2,901
	81期(2022年10月17日)	2,385	40	△7.8	0.0	97.3	2,869
	82期(2022年11月17日)	2,301	40	△1.8	0.1	97.4	3,005
	83期(2022年12月19日)	2,226	40	△1.5	0.0	97.2	3,033
第15作成期	84期(2023年 1月17日)	2,123	40	△2.8	0.0	97.7	2,789
	85期(2023年 2月17日)	2,278	40	9.2	0.0	97.3	3,068
	86期(2023年 3月17日)	2,071	25	△8.0	0.1	96.6	2,899
	87期(2023年 4月17日)	2,278	25	11.2	0.0	96.8	2,860
	88期(2023年 5月17日)	2,386	25	5.8	0.0	96.4	2,799
	89期(2023年 6月19日)	2,642	25	11.8	0.1	97.9	2,848
第16作成期	90期(2023年 7月18日)	2,610	25	△0.3	0.1	96.6	2,472
	91期(2023年 8月17日)	2,672	25	3.3	0.0	97.9	2,446
	92期(2023年 9月19日)	2,819	25	6.4	—	98.6	2,531
	93期(2023年10月17日)	2,604	25	△6.7	0.0	98.5	2,352
	94期(2023年11月17日)	2,784	25	7.9	—	97.3	2,489
	95期(2023年12月18日)	2,531	25	△8.2	0.0	98.4	2,226

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「公社債組入比率」は、実質組入比率を記載しています。

(注3) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期中の基準価額の推移

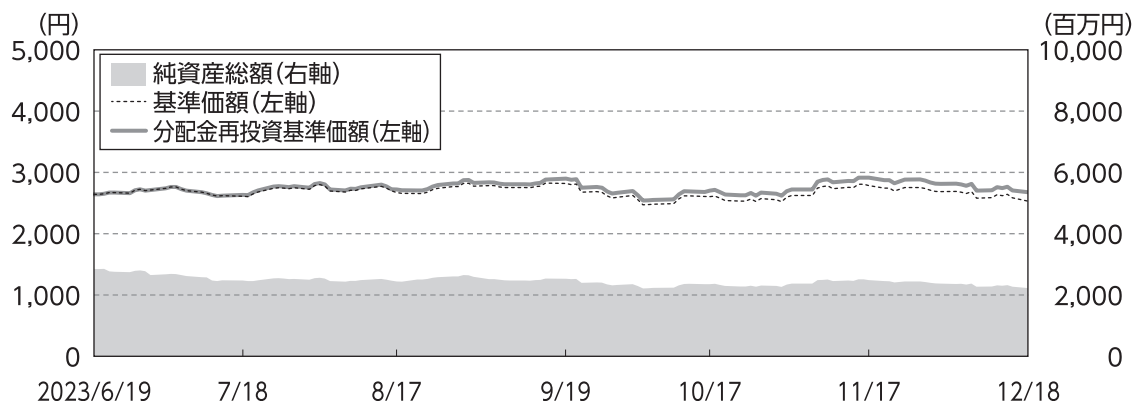
決算期	年 月 日	基準 価 額		公 社 債 率 組 入 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率		
第90期	(期 首)2023年 6月19日	円	%	%	%
	6月末	2,642	—	0.1	97.9
	(期 末)2023年 7月18日	2,714	2.7	0.1	98.5
第91期	(期 首)2023年 7月18日	2,635	△0.3	0.1	96.6
	7月末	2,610	—	0.1	96.6
	(期 末)2023年 8月17日	2,726	4.4	0.0	98.4
第92期	(期 首)2023年 8月17日	2,697	3.3	0.0	97.9
	8月末	2,672	—	0.0	97.9
	(期 末)2023年 9月19日	2,823	5.7	0.0	99.2
第93期	(期 首)2023年 9月19日	2,844	6.4	—	98.6
	9月末	2,819	—	—	98.6
	(期 末)2023年10月17日	2,595	△7.9	—	98.6
第94期	(期 首)2023年10月17日	2,629	△6.7	0.0	98.5
	10月末	2,604	—	0.0	98.5
	(期 末)2023年11月17日	2,524	△3.1	—	99.0
第95期	(期 首)2023年11月17日	2,809	7.9	—	97.3
	11月末	2,784	—	—	97.3
	(期 末)2023年12月18日	2,691	△3.3	0.0	98.2
		2,556	△8.2	0.0	98.4

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「公社債組入比率」は、実質組入比率を記載しています。

当作成期中の運用経過と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第90期首：2,642円

第95期末：2,531円(既払分配金150円)

騰落率：1.3%(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

■ 基準価額の主な変動要因

当作成期間における分配金再投資基準価額は前作成期末比で上昇しました。主な要因は以下の通りです。

米国リートETF要因

米国リートETFを保有するとともに、当該ETFを対象とするコール・オプションを売却した投資効果を楽しむカバード・コール戦略では、コール・オプションの売却により得られるオプション・プレミアムが順調に積み上がりました。米国リートETFが持ち直し基調を強めた期末にかけては、ETFの終値がオプションの行使価格を上回る推移となったものの、米国リートETFに係る戦略全体では、プラス寄与を確保しました。

ブラジル・リアル戦略要因

ブラジル・リアルが対円で下落したものの、ブラジル・リアル/円の金利差相当分を収益化する戦略から着実に収益を積み上げ、ブラジル・リアル戦略もプラス寄与となりました。

米ドル/円のカバード・コール戦略要因

円に対する米ドルのコール・オプションを売却した投資効果を楽しむカバード・コール戦略では、円に対する米ドルのコール・オプションの売却によるオプション・プレミアムによる収益が順調に積み上がったものの、過半の期間で米ドル/円レートが、オプションの行使価格を上回る推移となり、さらには期末にかけて米ドル安/円高が進行したため、米ドルに係る戦略全体ではマイナス寄与となりました。

■投資環境

●米国リート市場

当作成期の米国リート市場は、上昇しました。

インフレ指標の低下や景況感の改善などを背景とした米国経済のソフトランディング期待の高まりを受けて、米国リート市場は堅調な滑り出しとなったものの、大手格付け会社フィッチによる米国債の格下げや、長期金利の上昇とそれに伴う景気減速への懸念、中東における地政学リスクの高まりなどを受けて、2023年10月下旬にかけて軟調地合いとなりました。しかし、パウエルFRB(米連邦準備制度理事会)議長によるハト派的(金融引き締め)に消極的)な発言や予想を下回る10月雇用統計などを受けて長期金利が低下基調に転じると、ソフトランディングへの期待が再び高まるなか、米国リート市場は反転し、期末にかけて急速に持ち直す展開となりました。

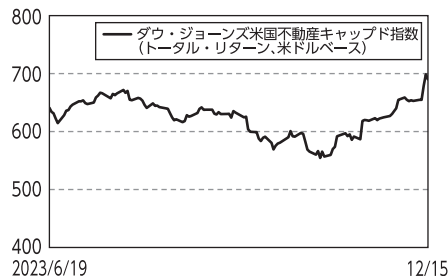
※米国リート市場の参加者には利回り重視の投資家が多く、米長期金利の水準はリートの配当利回りと比較され、リートの相対的な投資妙味を判断する重要な材料となっています。長期金利の上昇は通常、リートの利回り面での相対的な魅力を低下させる要因として、逆に長期金利の低下はリートの利回り面での相対的な魅力を向上させる要因として、それぞれ認識される傾向があります。

●為替市場

ブラジル・レアル/円相場

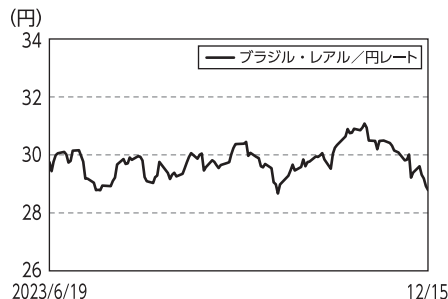
当作成期のブラジル・レアル/円相場は、期前半は揉み合う推移となり、期後半に入ると短期間の調整を経てまとまって上昇したものの、期末にかけては下押し圧力が優勢な状況が続き、前作成期末比ではブラジル・レアル安/円高が進みました。

期前半はブラジル中央銀行による利下げ開始や主要貿易相手国である中国の景気減速等がレアルの重しとなった一方、底堅いブラジルの経済状況や財政規則法案の可決・施行を受けた財政リスク低下への期待などが支援材料となりました。期後半は、2023年10月上旬にかけて米国の金融引き締め長期化懸念と米長期金利の上昇を主因に、レアルは対米ドルだけでなく、対円でも調整圧力が強まりましたが、米長期金利の上昇が一服すると買い戻しの動きが広がり、11月中旬にかけて持ち直す推移となりました。しかしその後は、米国の利上げ打ち止め/早期利下げ観測や日本銀行の政策正常化の思惑などを背景に、米ドル中心に円高基調が強まるなか、レアルも対円での下落幅を拡大する展開となりました。



(出所)ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。

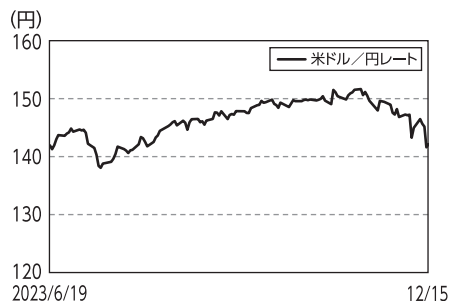


(出所)ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。

米ドル／円相場

当作成期の米ドル／円相場では、期初1米ドル＝142円前後でスタートした後、日本当局による為替介入や日本銀行の政策修正への警戒感から円高に振れる場面はありましたが、米金利の上昇と歩調を合わせる形で大幅に米ドル高／円安が進行し、2023年10月から11月にかけては一時1米ドル＝151円台後半に達しました。しかし、その後は米金利上昇が一服したことなどを背景に米ドル安／円高基調に転じ、期末には期初の水準から概ね横ばいの1米ドル＝142円近辺で推移しました。



(出所)ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。

●国内短期金融市況

当作成期は、日本銀行による大規模な量的・質的金融緩和が継続するなか、日本の短期金利は引き続き低位で推移しました。短期金利の代表的な指標の一つである国庫短期証券(3ヵ月物)金利は期を通じてマイナス圏で推移し、期末には△0.18%近辺で推移しました。

■当ファンドのポートフォリオ

当ファンド

追加設定・解約による資金フローを鑑みながら、主要投資対象である「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)ⅢーUSリート・トリプルエンジン・プラス・ファンド(適格機関投資家専用)(ブラジル・リアル・クラス)」(以下「外国投資信託」)のパフォーマンスを享受すべく、当該外国投資信託の組入比率を高位に維持する運用を行いました。また、投資信託財産の一部を、「楽天・国内マネー・マザーファンド」の受益証券に投資しました。

外国投資信託

担保付スワップを通して、以下の取引を行った場合に得られる投資成果を享受する運用を行いました。

- ① ダウ・ジョーンズ米国不動産キャップド指数を対象としたiシェアーズ米国不動産ETFへの投資
- ② 当該ETFに係るコール・オプションの定期的な売却
- ③ 円売り／ブラジル・リアル買いの1ヵ月物外国為替先渡取引
- ④ 円に対する米ドルのコール・オプションの定期的な売却

楽天・国内マネー・マザーファンド

主に、国庫短期証券や高格付CPを対象にした現先取引による運用を行いました。

■当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

■分配金

分配金額は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価損益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定しました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、投資信託財産内に留保し、運用の基本方針にもとづいて運用いたします。

●分配原資の内訳

(1万口当たり・税込)

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
	2023年6月20日～ 2023年7月18日	2023年7月19日～ 2023年8月17日	2023年8月18日～ 2023年9月19日	2023年9月20日～ 2023年10月17日	2023年10月18日～ 2023年11月17日	2023年11月18日～ 2023年12月18日
当期分配金 (円)	25	25	25	25	25	25
(対基準価額比率) (%)	(0.949)	(0.927)	(0.879)	(0.951)	(0.890)	(0.978)
当期の収益 (円)	25	25	25	25	25	25
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	3,416	3,477	3,542	3,595	3,659	3,720

(注1) 「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

当ファンド

引き続き、「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ－USリート・トリプルエンジン・プラス・ファンド(適格機関投資家専用)(ブラジル・リアル・クラス)」(以下「外国投資信託」と「楽天・国内マネー・マザーファンド」を投資対象とし、外国投資信託への投資割合を高位に維持することを目指します。

外国投資信託

引き続き、担保付スワップを通して以下の取引を行った場合に得られる投資成果を享受することを目指します。

- ① ダウ・ジョーンズ米国不動産キャップド指数を対象としたiシェアーズ米国不動産ETFへの投資
- ② 当該ETFに係るコール・オプションの定期的な売却
- ③ 円売り／ブラジル・リアル買いの1ヵ月物外国為替先渡取引
- ④ 円に対する米ドルのコール・オプションの定期的な売却

楽天・国内マネー・マザーファンド

資産の保全と流動性に留意しながら、国庫短期証券や高格付CPを対象にした現先取引、コール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を目指します。

1万口当たりの費用明細

項 目	当作成期		項 目 の 概 要
	2023年6月20日～2023年12月18日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	18円	0.673%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は2,678円です。
(投信会社)	(9)	(0.328)	・委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(9)	(0.328)	・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(0)	(0.016)	・運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.056	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(投資信託証券)	(2)	(0.056)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
			有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	1	0.052	(d) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(—)	(—)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.004)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用)	(1)	(0.039)	・印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用
(その他)	(0)	(0.009)	・その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料、その他投資信託財産の運営にかかる費用等
合 計	21	0.781	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

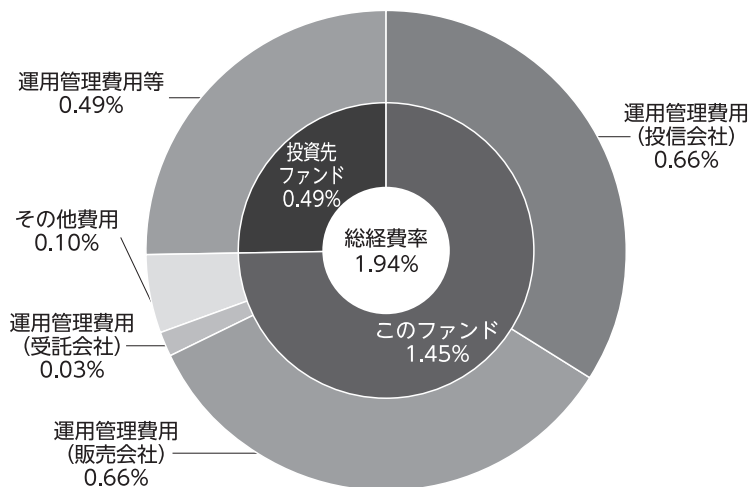
(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注5) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く)が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示することとしております。

■ (参考情報) 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.94%です。



総経費率 (①+②)	1.94%
①このファンドの費用の比率	1.45%
②投資先ファンドの運用管理費用等の比率	0.49%

(注1) このファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) このファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) このファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況

■投資信託証券

		当 作 成 期			
		買 付		売 付	
		単位数又は口数	金 額	単位数又は口数	金 額
国内	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-USリート・トリプルエンジン・プラス・ファンド(適格機関投資家専用)(ブラジル・レアル・クラス)	千口	千円	千口	千円
		29,904	275,000	46,361	458,620

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

利害関係人※との取引状況等

該当事項はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

自社による当ファンドの設定・解約状況

該当事項はありません。

組入資産の明細

■ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名		当 作 成 期 末		
		単位数又は口数	評 価 額	比 率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-USリート・トリプルエンジン・プラス・ファンド(適格機関投資家専用)(ブラジル・レアル・クラス)		千口 266,229	千円 2,190,560	% 98.4
合 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	266,229 1	2,190,560 <98.4%>	

(注1) < >内は純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 単位数又は口数、評価額の単位未満は切捨て。

■親投資信託残高

	前作成期末	当 作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
楽天・国内マネー・マザーファンド	千口 2,492	千口 2,492	千円 2,487

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 親投資信託の当作成期末現在の受益権口数は、1,528,422千口です。

投資信託財産の構成

項 目	当 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 2,190,560	% 97.0
楽 天 ・ 国 内 マ ネ ー ・ マ ザ ー フ ェ ン ド	2,487	0.1
短 期 金 融 資 産 、 そ の 他	65,013	2.9
投 資 信 託 財 産 総 額	2,258,060	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本及び基準価額の状況ならびに損益の状況

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	(2023年7月18日)、	(2023年8月17日)、	(2023年9月19日)、	(2023年10月17日)、	(2023年11月17日)、	(2023年12月18日)現在
	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末
(A)資 産	2,609,209,615円	2,479,512,282円	2,563,770,497円	2,440,433,026円	2,525,519,675円	2,258,060,848円
コール・ローン等	218,348,587	80,996,773	65,855,897	121,626,201	100,665,552	65,012,988
投資信託受益証券(評価額)	2,388,373,241	2,396,027,971	2,495,427,311	2,316,319,536	2,422,367,083	2,190,560,820
楽天・国内マネー・マザーファンド(評価額)	2,487,787	2,487,538	2,487,289	2,487,289	2,487,040	2,487,040
(B)負 債	136,284,501	33,100,708	31,782,754	88,155,625	35,919,791	31,910,542
未 払 金	-	-	-	61,000,000	-	-
未 払 収 益 分 配 金	23,689,148	22,888,138	22,456,682	22,583,501	22,359,931	21,987,366
未 払 解 約 金	109,531,575	7,234,087	6,012,469	1,950,956	10,624,012	6,987,122
未 払 信 託 報 酬	2,856,091	2,769,390	3,084,818	2,426,843	2,721,121	2,721,415
未 払 利 息	598	239	194	349	300	194
そ の 他 未 払 費 用	207,089	208,854	228,591	193,976	214,427	214,445
(C)純資産総額(A-B)	2,472,925,114	2,446,411,574	2,531,987,743	2,352,277,401	2,489,599,884	2,226,150,306
元 本	9,475,659,285	9,155,255,378	8,982,673,072	9,033,400,787	8,943,972,403	8,794,946,548
次 期 繰 越 損 益 金	△7,002,734,171	△6,708,843,804	△6,450,685,329	△6,681,123,386	△6,454,372,519	△6,568,796,242
(D)受 益 権 総 口 数	9,475,659,285口	9,155,255,378口	8,982,673,072口	9,033,400,787口	8,943,972,403口	8,794,946,548口
1万口当たり基準価額(C/D)	2,610円	2,672円	2,819円	2,604円	2,784円	2,531円

(注) 期首元本額は10,780,112,988円、第90～95期中追加設定元本額は1,439,392,887円、第90～95期中一部解約元本額は3,424,559,327円です。

■ 損益の状況

第90期(自2023年6月20日 至2023年7月18日) 第93期(自2023年 9月20日 至2023年10月17日)
 第91期(自2023年7月19日 至2023年8月17日) 第94期(自2023年10月18日 至2023年11月17日)
 第92期(自2023年8月18日 至2023年9月19日) 第95期(自2023年11月18日 至2023年12月18日)

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(A) 配 当 等 收 益	83,853,999円	80,395,611円	81,830,055円	72,941,224円	81,074,321円	77,734,479円
受 取 配 当 金	83,862,926	80,400,392	81,836,402	72,945,048	81,078,531	77,740,507
支 払 利 息	△8,927	△4,781	△6,347	△3,824	△4,210	△6,028
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△89,803,399	425,476	74,790,775	△237,629,042	104,751,059	△273,745,692
売 買 益	6,406,249	3,605,424	80,026,929	2,467,857	106,401,457	3,028,877
売 買 損	△96,209,648	△3,179,948	△5,236,154	△240,096,899	△1,650,398	△276,774,569
(C) 信 託 報 酬 等	△3,063,192	△2,978,244	△3,313,409	△2,621,431	△2,935,548	△2,935,860
(D) 当 期 損 益 (A+B+C)	△9,012,592	77,842,843	153,307,421	△167,309,249	182,889,832	△198,947,073
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△364,493,011	△376,117,798	△302,308,757	△168,724,934	△349,266,993	△182,111,808
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△6,605,539,420	△6,387,680,711	△6,279,227,311	△6,322,505,702	△6,265,635,427	△6,165,749,995
(配当等相当額)	(2,497,647,785)	(2,427,360,150)	(2,411,028,346)	(2,441,025,979)	(2,429,611,539)	(2,403,829,861)
(売買損益相当額)	(△9,103,187,205)	(△8,815,040,861)	(△8,690,255,657)	(△8,763,531,681)	(△8,695,246,966)	(△8,569,579,856)
(G) 計 (D+E+F)	△6,979,045,023	△6,685,955,666	△6,428,228,647	△6,658,539,885	△6,432,012,588	△6,546,808,876
(H) 收 益 分 配 金	△23,689,148	△22,888,138	△22,456,682	△22,583,501	△22,359,931	△21,987,366
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△7,002,734,171	△6,708,843,804	△6,450,685,329	△6,681,123,386	△6,454,372,519	△6,568,796,242
追 加 信 託 差 損 益 金	△6,605,539,420	△6,387,680,711	△6,279,227,311	△6,322,505,702	△6,265,635,427	△6,165,749,995
(配当等相当額)	(2,497,647,783)	(2,427,360,149)	(2,411,028,344)	(2,441,025,978)	(2,429,611,538)	(2,403,829,860)
(売買損益相当額)	(△9,103,187,203)	(△8,815,040,860)	(△8,690,255,655)	(△8,763,531,680)	(△8,695,246,965)	(△8,569,579,855)
分 配 準 備 積 立 金	740,068,003	756,366,041	770,870,838	806,908,356	843,849,575	868,341,606
繰 越 損 益 金	△1,137,262,754	△1,077,529,134	△942,328,856	△1,165,526,040	△1,032,586,667	△1,271,387,853

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<分配金の計算過程>

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(A) 配当等収益額 (費用控除後)	80,790,677円	77,433,059円	80,098,655円	70,319,675円	79,793,383円	74,798,476円
(B) 有価証券売買等損益額 (費用控除後・繰越欠損金補填後)	－円	－円	－円	－円	－円	－円
(C) 収益調整金額	2,497,647,783円	2,427,360,149円	2,411,028,344円	2,441,025,978円	2,429,611,538円	2,403,829,860円
(D) 分配準備積立金額	682,966,474円	701,821,120円	713,228,865円	759,172,182円	786,416,123円	815,530,496円
(E) 分配対象収益額 (A+B+C+D)	3,261,404,934円	3,206,614,328円	3,204,355,864円	3,270,517,835円	3,295,821,044円	3,294,158,832円
(F) 期末残存口数	9,475,659,285口	9,155,255,378口	8,982,673,072口	9,033,400,787口	8,943,972,403口	8,794,946,548口
(G) 収益分配対象額 (1万口当たり) (E/F×10,000)	3,441.86円	3,502.46円	3,567.25円	3,620.46円	3,684.94円	3,745.50円
(H) 分配金額 (1万口当たり)	25円	25円	25円	25円	25円	25円
(I) 収益分配金額 (F×H/10,000)	23,689,148円	22,888,138円	22,456,682円	22,583,501円	22,359,931円	21,987,366円

分配金のお知らせ

	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
1万口当たり分配金	25円	25円	25円	25円	25円	25円

収益分配金の支払いについて

- ・収益分配金は、取扱い販売会社において決算日から起算して5営業日までに支払いを開始いたします。
- ・分配金再投資コースを選択されている場合は、各決算日の基準価額に基づき、お客様の口座に繰り入れて再投資いたします。

収益分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金は、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」の区分があり、分配後の基準価額が個々の受益者の個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個々の受益者の個別元本を下回る場合は、その下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

受益者別の普通分配金に対する課税について

個人の受益者

20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%、および地方税5%)の税率となります。

法人の受益者

個人の受益者とは異なります。

※外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※税法が改正された場合等は、上記の内容が変更される場合があります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

お知らせ

該当事項はありません。

■組入ファンドの概要

以下は、『楽天USリート・トリプルエンジン・プラス(リアル)毎月分配型』が組み入れている投資信託証券(ファンド)の状況として、当作成期末において入手できる直近の情報を掲げております。

	ファンド名	決算日
1	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ－USリート・トリプルエンジン・プラス・ファンド(適格機関投資家専用)(ブラジル・リアル・クラス)	2022年11月30日
2	楽天・国内マネー・マザーファンド	2023年6月15日

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	ケイマン籍／外国投資信託／円建
運用目的および 主な運用方針	<p>担保付スワップ取引を通じて実質的に、米国リート指数に連動する運用成果を目指すETFへ投資するとともに、同ETFおよび米ドル／円レートのカバード・コール戦略ならびにブラジル・リアル戦略を組み合わせることで、インカム性収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指します。</p> <p>※担保付スワップの相手方は、クレディ・スイス・インターナショナルです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 米国リートへの投資にあたっては、ダウ・ジョーンズ米国不動産キャップド指数に連動することを目的としたETFを対象とします。 ※対象とする指数、ETFは将来変更される場合があります。 2. 対象とする米国リートETFに対するコール・オプションの売却を行うこと(米国リートETFのカバード・コール戦略)により、オプション・プレミアムの確保を目指します。 3. 円に対する米ドルのコール・オプションの売却を行うこと(米ドル／円レートのカバード・コール戦略)により、オプション・プレミアムの確保を目指します。 4. 円売り／ブラジル・リアル買いの為替取引(ブラジル・リアル戦略)を行うことにより、円とブラジル・リアルの金利差相当分の収益と対円でのブラジル・リアルのパフォーマンスの獲得を目指します。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・純資産総額の10%を超える借り入れは行いません。 ・純資産総額の15%を超えて流動性の低い資産を組み入れることはありません。 ・単一の発行体および取引の相手方に対するエクスポージャーは投資信託財産の10%を超えないものとします。(ただし、担保付取引の場合は該当するエクスポージャーから当該担保の評価額を差し引くことができるものとします。)
分配方針	原則として、毎月行います。
申込手数料	ありません。
管理報酬等	<p>純資産総額に対し年0.50%</p> <p>(担保付スワップ取引にかかる費用、受託会社、管理会社、事務代行会社、保管銀行への報酬、監査費用、弁護士費用等を含みます。)</p> <p>ただし、その他ファンド運営に必要な各種経費等がかかる場合があります。</p>
信託財産留保額	1口当たり純資産総額に対し0.30%
信託期間	原則として、2163年12月1日まで
管理会社	クレディ・スイス・マネジメント(ケイマン)リミテッド

■ 損益計算書

(2021年12月1日～2022年11月30日までの計算期間)

	2022 JPY
Net income from financial instruments at fair value through profit or loss	
Fee income	932,221,852
Net loss on investment in the Collateralized Swap	<u>(401,740,805)</u>
Net investment income	<u>530,481,047</u>
Operational Costs Fee	<u>(11,654,525)</u>
Total operating expenses	<u>(11,654,525)</u>
Operating profit before finance costs	<u>518,826,522</u>
Interest expense	<u>(101,127)</u>
Total finance costs	<u>(101,127)</u>
Total comprehensive income (being increase in Net Assets attributable to the Unitholder from operations)	<u><u>518,725,395</u></u>

■ 投資資産明細

(2022年11月30日現在)

The investment in the Collateralized Swap value outstanding at 30 November 2022 (100% of Net Assets)

2022 Underlying strategy	Expiration date	Counterparty	Cost	Fair value	Unrealized loss
Options trading linked to US REIT index and USD/JPY and BRL/JPY foreign exchange rate overlays	31 December 2027	Credit Suisse International	JPY7,851,865,323	JPY3,045,563,980	JPY(4,806,301,343)

楽天・国内マネー・マザーファンド

第13期(2023年6月15日)

《運用報告書》

●当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限(2010年6月25日設定)
運用方針	主として本邦通貨建ての短期公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指した運用を行います。
主な投資対象	本邦通貨建ての公社債を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

当マザーファンドはこのたび上記決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

楽天投信投資顧問株式会社

東京都港区南青山二丁目6番21号

URL: <https://www.rakuten-toushin.co.jp/>

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		公社債 組入比率	純資産総額
		期中 騰落率		
	円	%	%	百万円
9期(2019年6月17日)	10,010	△0.1	42.6	2,345
10期(2020年6月15日)	10,003	△0.1	42.5	2,354
11期(2021年6月15日)	9,997	△0.1	63.1	1,586
12期(2022年6月15日)	9,989	△0.1	36.3	1,377
13期(2023年6月15日)	9,982	△0.1	60.6	1,650

(注) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

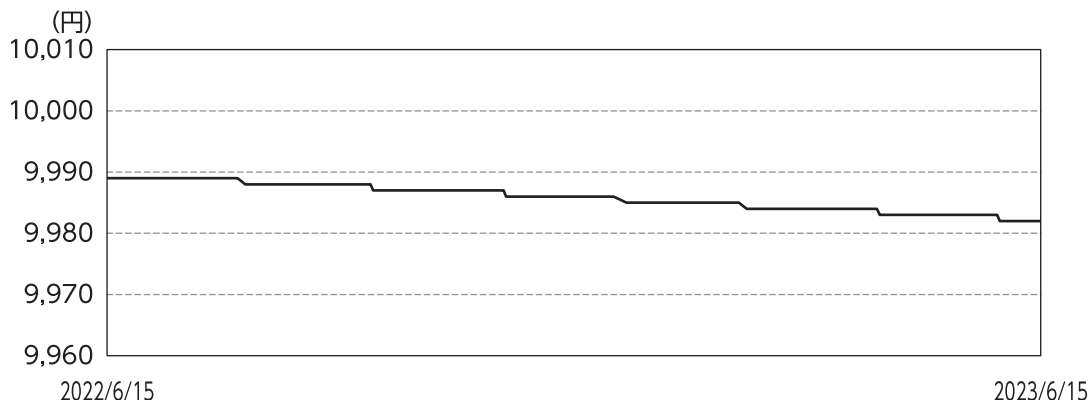
当期中の基準価額の推移

年月日	基準価額		公社債 組入比率
		騰落率	
(期首)	円	%	%
2022年 6月15日	9,989	—	36.3
6月末	9,989	0.0	—
7月末	9,989	0.0	—
8月末	9,988	△0.0	31.6
9月末	9,987	△0.0	39.0
10月末	9,987	△0.0	30.7
11月末	9,986	△0.0	—
12月末	9,986	△0.0	39.5
2023年 1月末	9,985	△0.0	56.5
2月末	9,984	△0.1	59.8
3月末	9,984	△0.1	—
4月末	9,983	△0.1	—
5月末	9,982	△0.1	32.7
(期末)			
2023年 6月15日	9,982	△0.1	60.6

(注) 騰落率は期首比。

当期中の運用経過と今後の運用方針

■ 基準価額の推移

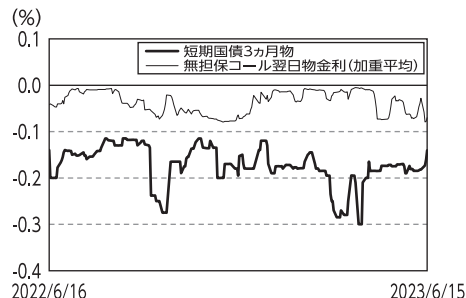


■ 基準価額の変動要因

主な投資対象である国庫短期証券や高格付コマーシャル・ペーパーの利回りがマイナスあるいはゼロ近辺で推移したため、基準価額は緩やかなペースで下落しました。

■ 投資環境

当期は、日本銀行による大規模な量的・質的金融緩和が継続するなか、日本の短期金利は引き続き低位で推移しました。短期金利の代表的な指標の一つである国庫短期証券(3ヵ月物)金利は期を通じてマイナス圏で推移し、欧米の金融システム不安への警戒感などから、一時的に $\Delta 0.3\%$ 近辺まで金利が低下する局面もありましたが、期末には $\Delta 0.13\%$ 近辺と、概ね前期末比横ばい圏での推移となりました。



(出所)ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

■ 当ファンドのポートフォリオ

主に、コール・ローンや、国庫短期証券および高格付コマーシャル・ペーパーを対象にした現先取引による運用を行ってまいりました。

■ 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

■ 今後の運用方針

資産の保全と流動性に留意しながら、国庫短期証券や高格付コマーシャル・ペーパーを対象にした現先取引、コール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を目指します。

1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (公社債)	-円 (-)	-% (-)
(現先)	(-)	(-)
(b) その他費用 (保管費用)	0 (-)	0.002 (-)
(その他)	(0)	(0.002)
合計	0	0.002

期中の平均基準価額は9,985円です。

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、費用項目については7ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照下さい。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

売買および取引の状況

■ 公社債

	当 期	
	買 付 額	売 付 額
国 内	千円	千円
国 債 証 券	152,907,442	152,406,858

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■ その他有価証券

	当 期	
	買 付 額	売 付 額
国 内	千円	千円
コマーシャル・ペーパー	122,999,968	122,999,969

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

利害関係人※との取引状況等

該当事項はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

組入資産の明細

■国内(邦貨建)公社債種類別

区 分	当		期		末		
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	1,000,000 (1,000,000)	1,000,226 (1,000,226)	60.6 (60.6)	— (—)	— (—)	— (—)	60.6 (60.6)
合 計	1,000,000 (1,000,000)	1,000,226 (1,000,226)	60.6 (60.6)	— (—)	— (—)	— (—)	60.6 (60.6)

(注1) ()内は非上場債で内書き。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。小数点以下第2位を四捨五入。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

■国内(邦貨建)公社債銘柄別

銘 柄 名	当	期	末	
	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第1153回国庫短期証券*	—	1,000,000	1,000,226	—
合 計		1,000,000	1,000,226	

(注1) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注2) ※印は現先で保有している債券です。

■国内(邦貨建)其他有価証券

項 目	当	期	末
	評 価 額	比 率	
コ マ ー シ ャ ル ・ ペ ー パ ー	千円 499,999	% 30.3	

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。小数点以下第2位を四捨五入。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

2. 楽天・国内マネー・マザーファンド

投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	1,000,226	58.6
そ の 他 有 価 証 券	499,999	29.3
短 期 金 融 資 産、そ の 他	205,413	12.1
投 資 信 託 財 産 総 額	1,705,638	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本及び基準価額の状況ならびに損益の状況

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年6月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,705,638,633円
コール・ローン等	205,412,713
公社債(評価額)	1,000,226,000
その他有価証券	499,999,920
(B) 負 債	55,539,711
未払解約金	55,536,000
未払利息	607
その他未払費用	3,104
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,650,098,922
元 本	1,653,049,666
次期繰越損益金	△2,950,744
(D) 受 益 権 総 口 数	1,653,049,666口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,982円

(注1) 期首元本額 1,379,225,666円
 期中追加設定元本額 6,030,734,978円
 期中一部解約元本額 5,756,910,978円

(注2) 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額

楽天ブルベア・マネープール	1,648,542,595円
楽天USリート・トリプルエンジン・プラス(リアル) 毎月分配型	2,492,274円
楽天グローバル・プレミア・ファンド(ロボット自動運用型)	997,905円
新ホリコ・フォーカス・ファンド	996,910円
楽天・ポジティブ・インパクト株式ファンド	9,994円
楽天・全世界債券インデックス(為替ヘッジ)ファンド	9,988円

■損益の状況

(自2022年6月16日 至2023年6月15日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△1,092,508円
受 取 利 息	△601,897
支 払 利 息	△490,611
(B) そ の 他 費 用	△39,023
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△1,131,531
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△1,448,254
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	△8,451,978
(F) 解 約 差 損 益 金	8,081,019
(G) 計 (C+D+E+F)	△2,950,744
次 期 繰 越 損 益 金(G)	△2,950,744

(注1) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注2) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

お知らせ

該当事項はありません。